

CO₂排出量をJ-クレジットで相殺する「排出権付リース」の取り組みについて

株式会社ツルハホールディングス（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：鶴羽 順）の子会社である株式会社ツルハ（代表取締役社長：八幡 政浩、以下「ツルハ」）は、三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）、北海道津別町（町長：佐藤 多一、以下「津別町」）（以下、総称して「3者」）と、津別町が創出した森林由来のクレジット※1をリース契約に付加し、リース期間中に見込まれる店舗設備のCO₂排出量をカーボンオフセットする「排出権付リース※2」の取り組みを開始したことをお知らせします。

ツルハは地域への貢献を目的に、津別町が創出した森林由来のクレジットを活用し、9月19日にオープンした屯田6条店の店舗設備のCO₂排出量の全量をカーボンオフセットします。店舗設備のカーボンオフセットは、ツルハとして初めての取り組みとなり、今後の新規出店や設備更新時においても同様のリース商品の活用を検討していきます。今回は、排出権付リースに加え、SMFLが提供するSDGsリース『みらい2030[®]』※3（寄付型）の枠組みを活用します。SMFLを通じて、リース契約総額の0.1%を認定NPO法人ウォーターエイドジャパンへ寄付する予定です。

また、来年度以降、ツルハでは、地域のお客さま向けイベントとして、津別町が運営するバイオマス施設の見学会、森林での植樹や枝打ちなどの体験型イベントを、津別町と共同で企画を検討します。

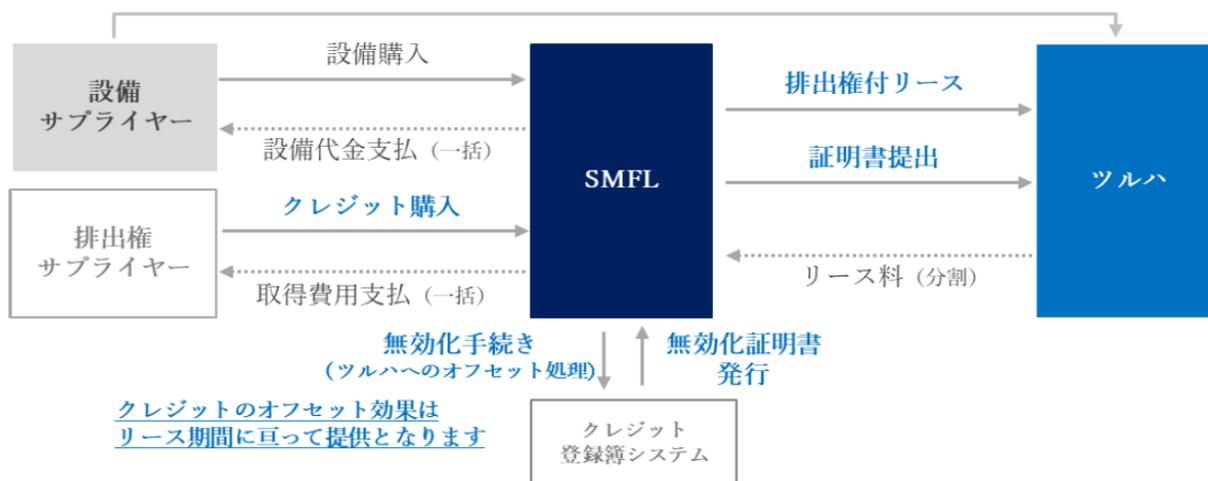
【津別町の町有林】



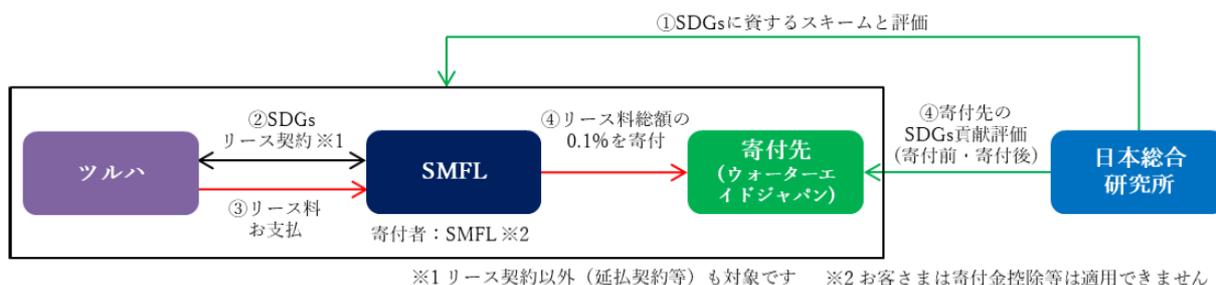
【ツルハドラッグ屯田6条店】



【排出権付リース スキーム図】



【SDGsリース スキーム図】



ツルハグループは、地域に愛され、喜ばれる、「日本一のドラッグストアチェーン」を目指して、「お客様の生活に豊かさや余裕を提供する」という理念のもと、全国に総店舗数 2,653 店舗 (2024/5 時点) を展開しています。ESG の観点から時代とともに変化する社会と環境の様々な課題に向き合い、事業を通じた地域社会へのさらなる貢献を図り、次世代への地球環境を考え、環境保全、次世代支援に積極的に取り組んでいきます。これからもステークホルダーの皆様との対話を通じ、SDGs (持続可能な開発目標) の発展に貢献する企業を目指します。

以上

※1 クレジット

省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂などの排出削減量、適切な森林管理によるCO₂などの吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。国内では「J-クレジット制度」として経済産業省や環境省、農林水産省が推進。

※2 排出権

排出権は、日本の法律上では「算定割当量」と定義されています。ここでは、カーボンクレジットの総称として「排出権」と記載。

※3 SDGs リース『みらい2030[®]』について https://www.smfl.co.jp/service/sdgs_lea

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ツルハホールディングス 総務部・サステナブル経営推進部 TEL : 011-783-2755